

夢、目標。そして、未来へ

本単元で特に育成する資質・能力

主体性

1 日 時 令和 7 年 1 月 17 日（金） 6 校時 14：05～14：50

2 場 所 6 年 1 組教室

3 学年・学級 6 年 1 組、知的障害学級 1 組、自閉症・情緒障害学級 1、自閉症・情緒障害学級 2 組
33 名

4 単元設定の理由

(1) 単元観

6 年生は、まもなく本校を卒業する。それは、人生における大きな一つの節目を迎えるということである。卒業を迎えるこの時期に、夢をはぐくみ、在り方や生き方を考えさせる場や時間を設けることが、児童が将来、社会人・職業人として自立していくために必要な意欲・態度や能力を身に付けることとなると考える。また、本校の「夢や目標に向かって、自ら伸びる とともに伸びる児童の育成」という学校教育目標を一人一人の探究的な学びを通して具現化する 単元でもある。

この単元の本質的な問いは、『創る 作る 造る つくる』楽しさって何だろう』である。また、単元を貫く問いを『夢や目標をもつ』楽しさって何だろう』とし、児童一人一人が単元を通して、夢や目標を考えることを楽しんでほしいと願って設定した。

また、今までの学習形態は学級全員や学級の中の小集団での課題を発見し解決していくものが中心であった。本単元は、中学校での個人の探究的な学びにつながる学習形態を経験させることも考え、設定した。

(2) 児童観

1、2 学期は、「12 才になった大和小。大和小のことがもっと好きなみんなにしよう」プロジェクトとし、探究的な学びを進めてきた。1 学期は、もっと好きな人を増やすために、「イベントをしよう」などの意見の中から、「和太鼓の演奏を練習し、地域、保護者、児童のみんなにみてもらおう」ということでまとまり、予算係、講師依頼係、衣装係、宣伝係、練習のリーダーなどを決め、それぞれが役割をもち、講師を招聘し練習をスタートした。また、地域のまつりに参加させてもらうために、まつりの実行委員会でプレゼンを行い、出場が決まった。2 学期は、地域のまつりで演奏を披露したり、参加者にアンケートをとったりした。また、3 学期に保護者や児童への発表を目指して新たな曲に挑戦している。

その中で、33 名の児童に、7 月と 12 月に総合的な学習の時間の学習を振り返り、アンケートを実施した。その結果は次のとおりである。

問い「総合的な学習の時間での学びを通して、あなたの次の力は、5 点満点中、何点だと思いますか。」

問い	平均点	
	7 月	12 月
課題をみつける	3. 8	4. 1
課題の解決方法をみつける	3. 8	4. 1
課題を解決するための情報を集め、同じところや違うところをみつける	—	4. 0
自分で「これでいこう」と決めることができる	3. 8	4. 2
事実と意見を区別して、相手に伝える	—	3. 7
自分の考えをいろいろな方法で表現できる	3. 5	3. 6

自分の考えを友だちに伝える	3. 8	3. 9
自分のよさをみつける	3. 0	3. 5
自分の苦手なことをみつける	4. 0	4. 6
友だちの考えを「それもあるね」と認める	4. 0	4. 6
友だちのよさを認める	4. 4	4. 8
進んで学ぶ	3. 7	4. 3
課題を解決することを友だちと協力してできる	4. 0	4. 5
最後まで聞く	3. 8	4. 5
考えながら聞く	—	4. 3
全体の平均点	3. 8	4. 2

探究的に学習を進める中で、「自分の考えをいろいろな方法で表現できる」「自分の考えを友だちに伝える」「事実と意見を区別して、相手に伝える」という項目が、7月と12月ともに低く、「言語能力（伝える）」「まとめ・表現」ということに課題を感じている児童が、他の過程よりも多いことがわかる。

また、「友だちの考えを『それもあるね』と認める」「友だちのよさを認める」という項目は、できていると感じる児童が多い。一方で、「自分のよさをみつける」の項目に課題を感じている児童が多く、自己肯定感を高めていくことが必要である。

(3) 指導観

この単元の指導に当たっては、次の4点に留意する。

1点目は、「課題の設定」の場面では、全体で「あなたの夢や目標は何？」という課題を共有するとき、一人ひとりの課題は、将来の「仕事」を考えるだけではなく、「やさしい人になりたい」「努力する人になりたい」「地域を元気にする人になりたい」など、生き方に迫る課題が設定できるようにすることである。

2点目は、「言語能力（伝える）」「まとめ・表現する力」を育成するためのプレゼンテーションの場面を設けることである。「まとめ・表現」と「言語能力（伝える）」に課題を感じている児童がいることを踏まえ、手立てとして、自分の夢や目標についてまとめたことのプレゼンテーションでは、「事実」と「意見」の区別をつけるために、事実には、仕事や生き方について調べたことやその理由、意見には、そのために自分がこれから行いたいことなどの思いを述べるように指導する。プレゼンテーションの場としては、2月の最後の参観日に保護者に伝え、保護者からの意見を聞く場を設ける。

3点目は、各教科、特に国語科の授業の「相手や目的に応じて情報を発信する」「資料を使って提案する」「出来事の意味を考えて書く」という言葉の力をつける単元では、課題を解決するための情報を集め、同じところや違うところをみつけることや事実と意見を区別して相手に伝えることの学習を積み上げていく。

4点目は、自身の夢や目標を考える活動を取り入れ、自分のよさに気付かせ、自己肯定感を高める。

5 単元の目標

- 夢や目標を考え、保護者に伝える活動を通して、自分のよさや苦手なことに気付き、よさをさらに伸ばしたり、苦手なことを克服しようとしたりする態度を育成する。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【①知識】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組は、夢をはぐくむとともに、自分の成長につながることを理解している。 【②技能】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を、目的や対象に応じて適切に実施している。 【③探究的な学習のよさの理解】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組により、夢をはぐくみ、自分の成長につながることを理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	【④課題の設定】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝えることに向けて必要なことを考え、何をすべきか見通しをもっている。 【⑤情報の収集】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組に必要な情報を、講師・本・インターネットなどから収集するなど、目的に合わせて情報を蓄積している。 【⑥整理・分析】 収集・蓄積した情報の傾向を明らかにし、自分の夢や目標との関係を明らかにしている。 【⑦まとめ・表現】 相手や目的に応じて、理由や例をあげて分かりやすく表現している。	【⑧自己理解・他者理解】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を通して、自分や他者の特徴やよさを理解しようとしている。 【⑨主体性・協働性】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を通して、自分もしくは他者のよさを生かしながら、自分の意思で目標に向かって、課題の解決に取り組もうとしている。 【⑩将来展望・社会参画】 今後も自分の夢や目標を考えることを通して、自分にできることに取り組もうとしている。

7 本単元で特に育成しようとする資質・能力について

本校で育成しようとする資質・能力は、以下の5点である。

【知識及び技能】	①知識及び技能
【思考力・判断力・表現力等】	②情報活用能力 ③言語能力
【学びに向かう力、人間性等】	④主体性 ⑤自己理解・他者理解

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力との関わりについて、次の点に重点を置くものとする。

④主体性

尺度	1	2	3	4
	C		B	A
中学校区共通	自分の意思ではないが、目標に向かって課題の解決に取り組んでいる。	自分の意思で目標に向かって課題解決に取り組んでいる。	自分もしくは他者のよさを生かしながら、自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組んでいる。	自他のよさを生かしながら協力して、自分の意思で目標に向かって課題の解決に取り組んでいる。

本 単 元	自分の意思ではないが、自分の夢や目標を考え、まとめ、伝えることに取り組んでいる。	自分の意思で、自分の夢や目標を考え、まとめ、伝えることに取り組んでいる。	自分もしくは他者のよさを生かしながら、自分の意思で自分の夢や目標を考え、まとめ、伝えることに取り組んでいる。	自他のよさを生かしながら協力して、自分の意思で自分の夢や目標を考え、まとめ、伝えることに取り組んでいる。
-------------	--	--------------------------------------	--	--

8 指導と評価の計画（全 10 時間） 本時 4 / 10

時	学習内容	児童の思考の流れ	観点			◇教科の評価規準【資質・能力】 (評価方法)
			知	思	主	
1	目標：「自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える」という「夢、目標。そして未来へ」プロジェクトを進めるための見通しをもとう。					
	○校長からの話を受け、今後の見通しをもつ。	・「夢や目標を考えるって、楽しいこと」だな。 ・夢や目標って、将来の仕事もあるけれど、「やさしい人になりたいな」ということもある。 ・いろいろな仕事がある。 ・仕事は本やインターネットで調べることができる。 ・夢や目標を保護者の方に聞いてもらい、感想を聞いてみよう。		④		【④課題の設定】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝えることに向けて必要なことを考え、何をすべきか見通しをもっている。(ワークシート)
2 ～ 3	目標：将来の仕事やなりたい自分の姿について考えるために、本やインターネットなどを使って、必要な情報を集めよう。					
	○本やインターネットを使いながら、将来の仕事やなりたい自分の姿を考え、まとめるための情報を集める。	・自分の好きなことから考えてみよう。 ・まわりの大人の仕事や姿から考えてみよう。 ・こども園のころから思っている仕事にしよう。 ・本を使ってみよう。インターネットで検索してみよう。 ・クロームブックに、まとめていこう。		⑤		【⑤情報の収集】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組に必要な情報を講師・本・インターネットなどから収集し、目的に合わせて情報を蓄蓄積している。(ワークシート)
4	目標：自分の夢や目標と比べながら、高校生の話を聞き、夢や目標を描くときや実現するために大切にしたいことをみつけよう。					

	○3名の高校生（3年生）の夢や目標に関する話を聞き、意見交流をすることを通して、夢や目標を描くときや実現するために大切にしたいことをみつける。	・夢や目標って、変わっていいし、たくさんあってもいい。 ・自分の好きなことや得意なことから夢や目標を考えてみよう。 ・夢をかなえるという気持ちを持つことが大切だ。 ・自分の夢と同じだ。わたしもできそうな気がする。 ・自分の夢とは違うけれど、かなえるためには、努力しなければいけない。 ・遊ぶときと、勉強するときのメリハリをつけよう。			⑨	【⑨主体性・協働性】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を通して、自分もしくは他者のよさを生かしながら、自分の意思で目標に向かって、課題の解決に取り組もうとしている。（ワークシート）（行動観察）
5～	目標：将来の仕事やなりたい自分の姿や実現するために大切にしたいことについて、小学校最後の参観日に来てくださった方に伝えるためにまとめよう。					
8	○今まで収集した情報や高校生の話をもとに、発表することをまとめる。 ○まとめたことを友達ちに聞いたり見たりしてもらい、事実と意見を区別したり、理由や例をあげたりして分かりやすく表現できるよう改善する。 ○発表の練習をする。	・夢や目標について、考えた理由を入れよう。 ・例えば、○○をしてみたいということを入れよう。 ・事実と意見は別々書こう。 ・キーワードでまとめよう。 ・夢をかなえるために頑張ることを最後にまとめよう。 ・比喩を使うとわかりやすい。 ・具体的な出来事を入れてみよう。 ・○○さんのように、大きな声で伝えよう。 ・○○さんのように、聞く人に問いかけるように話そう。 ・○○さんのように、動作をつけよう。	②	⑥ ⑦	⑧	【②技能】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を、目的や対象に応じて適切に実施している。（ワークシート）（行動観察） 【⑥整理・分析】 収集・蓄積した情報の傾向を明らかにし、自分の夢や目標との関係を明らかにしている。（ワークシート）（行動観察） 【⑦まとめ・表現】 相手や目的に応じて、理由や例をあげて分かりやすく表現している。（ワークシート） 【⑧自己理解・他者理解】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を通して、自分や他者の特徴やよさを理解しようとしている。（ワークシート）（行動観察）
	目標：「夢、目標。そして未来へ」発表会をしよう。					
9～10	○将来の仕事やなりたい自分の姿や実現するために大切にしたいことについて発表する。	・大きな声で言えた。 ・問いかけるように言えた。 ・質問について答えることができなかった。	① ③		⑩	【①知識】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組は、夢をはぐくむとともに、自分の成長につながるこ

	○聞いた人からの感想や意見をもとに、もう一度自分の夢や目標について考えよう。	・はげましてもらって、うれしかった。発表してよかった。 ・あきらめずに頑張りたい。 ・中学校では、〇〇の勉強をがんばりたい。			とを理解している。(ワークシート)(行動観察) 【③探究的な学習のよさの理解】 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組により、夢をはぐくみ、自分の成長につながるこの理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。(ワークシート) 【⑩将来展望・社会参画】 今後も自分の夢や目標を考えることを通して、自分にできることに取り組もうとしている。(ワークシート)
--	---	---	--	--	---

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 広島県立総合技術高等学校3年生、3名の夢や目標に関する話を自分が描いている夢や目標と比べながら聞くことを通して、夢や目標を描くときの視点や実現するために大切にしたいことに気付くことができる。

(2) 観点別評価規準

- 自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を通して、自分もしくは他者のよさを生かしながら、自分の意思で目標に向かって、課題の解決に取り組んでいる。【⑨-1 主体性】(主体的に学習に取り組む態度)

(3) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への指導の手立て	◇教科の評価規準 (評価方法)
導入	1 前時までを想起させ、本時のめあてを設定する。	○ 夢や目標を描いている時の課題について児童の意見を聞きながら、本時は3名の高校生の夢や目標についての話を自分の夢や目標と比べながら聞く活動であるという意識をもたせる。	
	本時のめあて 自分の夢や目標と比べながら、高校生の話を聞き、夢や目標を描くときや実現するために大切にしたいことをみつけよう。		
展開	2 高校生の話を一人一人聞き、夢や目標を描くときの視点や夢や目標を実現するために大切にしたいことについて質問や意見交流をする。 ○想定される夢や目標を描くときの視点	◆ 事前に児童の夢や目標について把握して、メモを取ることができるように支援する。 ◆ 児童が話を聞きながら書いているメモを机間指導で把握し、自分の夢や目標と比べながら聞くことを助言す	自分の夢や目標を考え、まとめ、伝える取組を通して、自分もしくは他者のよさを生かしながら、自分の意思で目標に向

	・自分が好きなこと、得意なことを考えよう。 ・自分が興味あることについての本を読んでみよう。 ・社会や人のためになることを考えよう。 ・今まで、うまくできていないことから考えよう。 ・こんな人になりたいなと思うことから考えよう。 ○想定される夢や目標を実現するために大切にしたいこと ・チャレンジ精神を持つこと ・なりたいと思う気持ちの強さ ・人や社会のために何ができるかを知ること ・今は、勉強と遊ぶことにメリハリをつけること ・一緒にがんばれる仲間	る。 ◆ 児童の意見がつながっていくように、上記の視点をもとに、つなぐための視点を提示し、同じ意見をもっている児童が発表しやすい環境をつくる。 ◆ 「〇〇さんの言いたいことは何だろう」「〇〇さんの続きを話してみよう」などを問いかけることで、安心して発表できたり、意見がつながられたりする環境をつくる。	かって、課題の解決に取り組もうとしている。【⑨主体性・協働性】 (ワークシート) (行動観察)
ま と め	3 本時のまとめをする。 ○R80 を記入する。 私は、今、夢がありません。高校生の話を聞いて、自分が好きなことを考えてみることにしました。だから、私が好きな動物、犬のことを調べてみようと思いました。(75 字) 私は、夢を実現するには、「なりたい」という気持ちを強くもつことが大切だと思いました。だから、看護師について、もっと調べてみようと思いました。(70 字) ○R80 をシェアリングする。 二人組 ➡ 全体	○振り返りの視点を示す。 ・夢や目標を描くときや実現するために大切にしたいこと ・次回への見通し ○つなぎ言葉を示す。 ◆R80 のひな型を示す。 「本時で今後取り組むべきことを明確にできた。だから、これから、・・・を試してみようと思いました。」 ○全体でのシェアリングは、上記の視点で書いている児童又は、夢や目標について、今回の話から考えるきっかけをみつけたことを書いている児童に発表させる。	

(4) 板書計画

めあて 自分の夢や目標と比べながら、高校生のお話を聞き、夢や目標を描くときや実現するために大切にしたいことをみつけよう。

比べながら聞く

 自分の夢・目標 ⇔ 高校生の夢や目標

〇〇さん
※夢や目標を描くときの視点
.....

※実現するために大切にしたいこと
.....

〇〇さん
※夢や目標を描くときの視点
.....

※実現するために大切にしたいこと
.....

〇〇さん
※夢や目標を描くときの視点
.....

※実現するために大切にしたいこと
.....